

2023 年度

博士の学位申請 のための手引き

広島大学大学院先端物質科学研究科

学位授与方針（ディプロマポリシー）

【博士課程後期】

大学院先端物質科学研究科では、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に対し、以下に示す各専攻の基準に基づき、博士の学位を授与する。

（量子物質科学専攻）

1. 理工を融合した先端物質科学における高度な研究能力と専門技術を有している。
2. 量子物質科学分野の専門的な学識を有し、学術成果を国際的に発信できる能力を有している。
3. 国際社会・人類社会に貢献するための、高度な科学的思考力と実務能力等を有している。

本専攻においては、これらの知識・技能を習得した者に対し、その内容に応じて、博士（理学）、博士（工学）、博士（学術）のいずれかを授与する。

（分子生命機能科学専攻）

1. 理工を融合した先端物質科学における高度な研究能力と専門技術を有している。
2. バイオサイエンスおよびバイオテクノロジー分野の専門的な学識を有し、学術成果を国際的に発信できる能力を有している。
3. 国際社会・人類社会に貢献するための、高度な科学的思考力と実務能力等を有している。

本専攻においては、これらの知識・技能を習得した者に対し、その内容に応じて、博士（工学）、博士（理学）、博士（学術）のいずれかを授与する。

（半導体集積科学専攻）

1. 理工を融合した先端物質科学における高度な研究能力と専門技術を有している。
2. エレクトロニクス分野の専門的な学識を有し、学術成果を国際的に発信できる能力を有している。
3. 国際社会・人類社会に貢献するための、高度な科学的思考力と実務能力等を有している。

本専攻においては、これらの知識・技能を習得した者に対し、その内容に応じて、博士（工学）、博士（理学）、博士（学術）のいずれかを授与する。

目 次

1. はじめに	1
2. 学位授与までの流れ	2
3. 学位請求論文受理前の予備審査の手続き	4
4. 提出論文の形式	5
5. 学位請求論文の書き方	6
書き方の例	
(仮綴の場合)	8
(広島大学学術情報リポジトリ公表の場合)	13
6. 学位申請手続について	14

1. はじめに

この手引きは、先端物質科学研究科（量子物質科学専攻，分子生命機能科学専攻及び半導体集積科学専攻）において，博士の学位（以下「学位」という。）を申請するための準備及び申請手順を記述したものである。

学位請求論文は，英語で作成するものとする。

学位申請資格要件

次の（１）から（５）のいずれかに該当する者とする。

- 広島大学学位規則第２条第２項，広島大学大学院規則第４４条及び第４６条第１項並びに広島大学大学院先端物質科学研究科細則第１６条に基づくもの
 - （１）大学院の博士課程後期に３年以上在学して所定の単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受け，修了見込みである者
 - ただし，在学期間に関しては，研究科教授会の議を経て研究科長が優れた研究業績を上げたと認める者については，当該課程に１年（２年未満の在学期間をもって修士課程又は博士課程前期を修了した者）にあっては，当該在学期間を含めて３年以上在学すれば足りるものとする。
- 広島大学学位規則第２条第３項，広島大学大学院規則第４６条第２項及び広島大学学位規則先端物質科学研究科内規第３条第２項に基づくもの
 - （２）大学院の博士課程後期に３年以上在学して所定の単位を修得し，かつ，研究指導を受けた後退学した者（単位取得退学した者）
 - （３）大学院の博士課程前期又は修士課程の修了者で，４年以上の研究歴を有するもの
 - （４）大学の卒業者で，６年以上の研究歴を有するもの
 - （５）前各号に掲げる者以外の者で，研究科教授会が優れた研究業績を上げたと認める者

（注）（１）は，いわゆる「課程博士」，（２）から（５）までは，いわゆる「論文博士」を指すものである。なお「論文博士」については，先進理工系科学研究科又は統合生命科学研究科の規定による。

（この手引きは，2023年度に博士の学位申請をする者に適用する。）

2. 学位授与までの流れ

- 博士論文は、英語で作成すること。
- 博士論文の受理に必要な要件を指導教員に確認しておくこと。

① 予 備 審 査

各専攻で実施する。
申請者は、広島大学学術情報リポジトリにおいて「学位論文の要旨」及び「学位論文の全文」を公表することを前提に作成する。
申請者は、審査委員会の主査及び副査予定者を含む専攻の教員の前で論文の内容を説明し、質疑応答を行う。

② 学 位 の 申 請

申請者は、予備審査合格後、学位申請書類一式及び仮綴論文2冊（6節参照）並びに「博士の学位論文の提出及び公表に係る確認書（申請書）」を学生支援室へ提出する。
代議員会において、各専攻長による予備審査の報告に基づき、論文の受理及び審査委員会の設置が審議される。
また、「博士の学位論文の提出及び公表に係る確認書（申請書）」において主論文に「やむを得ない事由」があれば併せて審議される。

③ 公 聴 会 ・ 試 験

審査委員会は、論文の受理が認められてから7日程度の公聴会の公示期間を設けた後、公聴会を実施する。
申請者は、論文の審査委員、教員、学生を含む聴衆の前で論文の内容を発表し、質疑応答を行う。
また、論文に関連した科目について、試験（又は試問）を受ける。

④ 審 議 ・ 学 位 授 与

代議員会において、審査委員会の主査による論文審査及び試験の結果の報告に基づき、学位授与の可否が審議される。
申請者の博士課程後期の修了が認定され、学長から博士の学位が授与される。

⑤ 博士の「学位論文の全文」、 「学位論文の全文の要約」の提出

学位の授与が認められた者は、速やかに「学位論文の全文」をPDFファイルで学生支援室へ提出する。
「博士の学位論文の提出及び公表に係る確認書（申請書）」で主論文に「やむを得ない事由」（6節別紙7参照）がある場合は、「学位論文の全文」に加えて、「学位論文全文の要約」のPDFファイルを併せて提出する。
なお、その事由が解消された場合、速やかに「博士の学位論文の提出及び公表に係る確認書（申請書）」を改めて学生支援室へ提出する。

日 程

項目 区分		① 予備審査	② 学位の 申請	③ 公聴会 試 験	④ 修了 学位授与	⑤ 博士論文 の全文を PDFファイルで 提出
課程 博士	4月に入学後, 3年間在学し, 3月に修了する者	各 専 攻 で 実 施	1月25日 までに提出	2月中旬 ～ 2月下旬	学位記授 与式の日 (原則として 3月23日)	学位の授与が認められた者は速やかに「学位論文の全文」をPDFファイルで提出
	10月に入学後, 3年間在学し, 9月に修了する者		7月25日 までに提出	8月中旬 ～ 8月下旬	学位記授 与式の日 (原則として 9月20日)	
	3年を超えて在学 し修了する者		随 時	随 時	代議員会 で議決さ れた日	
	最短在学年 限の者		上記3月又は9月修了者と同様			
	早期修了する者 9月に修了 する者		7月25日 までに提出	8月中旬 ～ 8月下旬	学位記授 与式の日 (原則として 9月20日)	
	3月に修了 する者		1月25日 までに提出	2月中旬 ～ 2月下旬	学位記授 与式の日 (原則として 3月23日)	
上記以外の 者				代議員会 で議決さ れた日		
論文博士			随 時	随 時	代議員会 で議決さ れた日	

3. 学位請求論文受理前の予備審査の手続き

学位申請を希望する者は、研究科への正式申請の前に、以下に述べるように、あらかじめ予備審査を受けなければならない。

このため、正式申請の前には、日程に十分な余裕をもたせておく必要がある。

- (1) 学位請求論文の審査を希望する者は、まず、希望する専攻に属する関連分野の教員（教授又は准教授）にその旨申し出る。
申し出を受けた教員は、論文内容が審査の対象となり得ると判断したときは、論文受理に必要な形式及び様式（4節及び5節参照）を整えるよう指示をする。
- (2) 学位請求論文及び必要書類等を一括して、関連教員を通じ審査を希望する専攻の専攻長あてに提出し、受理のための予備審査を受けなければならない。予備審査の段階では、「学位論文の全文」の電子データ（PDF）で提出の必要はなく、学位請求論文を印刷（仮綴）したものでよい。
- (3) 専攻は、関連分野の教員の説明を受けた後、提出論文がその専攻分野の博士論文として審査の対象となるか否か、また論文の形式及び添付書類等が申請に必要な要件を充たしているか否かを「博士の学位論文の提出及び公表に係る確認書（申請書）」により照査する。
- (4) 提出された論文が受理に必要な要件を充たしていない場合は、専攻長から申請者にその旨を連絡し、場合によっては理由を文書で付して学位申請論文及び添付書類を返却する。
- (5) 必要な要件を充たしていると判断された場合、専攻長は論文審査担当者及び試験担当者等の候補を決めた上で、申請者に研究科への正式な申請の手続きを指示する。

4. 提出論文の形式

学位請求論文の形式は、以下のとおりとする。

- 主論文は、学位申請のために書き下ろした論文とする。
- 主論文は、主要な部分が原著論文として論文誌に既に掲載されているか、掲載可として受理されていなければならない（この原著論文を「公表論文」という。）。後者の場合は、掲載可として受理されていることを確認できる書類を添付すること。
- 主論文の著者は、学位申請者の単独名でなければならない。
- 公表論文は、共著であってよい。すなわち、公表論文の著者は、学位申請者を含む複数であってよい。原則として、同一論文での複数の学位申請を禁じる。共著論文を公表論文とする場合、すべての共著者又はその代表責任者から学位請求論文に使うことに関する承諾書を得なければならない。
- 主論文、公表論文のほかに、学位申請者の研究実績を示すため参考論文を添付することができる。
- 公表論文は参考論文に数えない。
- 参考論文は、共著でも可とする。
- 主論文に、公表論文、参考論文はともに学位論文として、全体構成が分かるように目次等を付した上で「学位論文の全文」にまとめなければならない。
（学位申請の段階では学位請求論文を印刷（仮綴）して提出し、学位の授与が認められた後に電子データ（PDF）を提出する。電子データ（PDF）作成の際は、公表論文及び参考論文はリストのみ添付し、公表論文及び参考論文は添付しない。）

5. 学位請求論文の書き方

(1) 仮綴の場合（フラットファイル等，A4判）

1. 1) 表紙（P8）

- ① 広島大学学位請求論文
- ② “題目” （ここで、引用記号“”は不要。以下同様）
- ③ （“題目”の和訳） （和文題目の場合はその英訳）
- ④ “論文提出の西暦年の数字”年
- ⑤ 広島大学大学院先端物質科学研究科“専攻名”専攻
（学位申請者の所属が本研究科以外の場合でも、審査する専攻名を記入。
その場合、所属は括弧内に（所属：“所属機関等の名称”）とする。
- ⑥ “著者の氏名”

1. 2) 第1ページ目：目次を次の順に記載する。

- ① 目次（P9）
- ② 主論文
“主論文の題目”（“題目の和訳”）（和文題目の場合はその英訳）
“著者名（単独）”
- ③ 公表論文
“公表論文の題目”
“著者名（共著者名のあるときはそれも含む。）”
“掲載論文誌の名称，巻（号），最初の頁と最後の頁，出版年，等”
[公表論文が複数あるときは，(1)・・・，(2)・・・等と番号を付けて“公表論文の題目”以下を列記する。]
- ④ [参考論文がある場合]
参考論文
“参考論文の題目”
“著者名（共著者名のあるときはそれも含む。）”
“掲載論文誌の名称，巻（号），最初の頁と最後の頁，出版年，等”
[参考論文が複数あるときは，(1)・・・，(2)・・・等と番号を付けて“参考論文の題目”以下を列記する。]

1. 3) 目次以降のページ：「主論文」とだけ文字を入れたページ（P10）をはさみ，主論文を続けて綴じる。

1. 4) 主論文以降のページ：「公表論文」の文字とそのリストを1. 2) ③に準じて記載したページ（P11）をはさみ，公表論文を綴じる。

1. 5) [参考論文がある場合] 主論文（公表論文のあるときは公表論文）以降のページ：「参考論文」の文字とそのリストを1. 2) ④に準じて記載したページ（P12）をはさみ、参考論文を綴じる。

なお、上記1. 1)～1. 5)の様式（Word）は、先端物質科学研究科ホームページでダウンロードすることができます。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/adsm/graduateschool/academic/format>

先端物質科学研究科

→「在学生のみなさまへ」

→「教務情報」

→「各種届出様式（履修届・修士論文題目届・学位申請関係書類等）」
をご覧ください。

(2) 広島大学学術情報リポジトリ公表の場合

（学位論文の全文を電子データ（PDF）で提出する場合）

2. 1) 表紙（P13）

仮綴の場合の1. 1)を以下の内容に替える。

- ① 博士論文
- ② “題目”
- ③ (“題目”の和訳)
- ④ “著者の氏名”
- ⑤ 広島大学大学院先端物質科学研究科
- ⑥ “授与年月”（例：2024年3月）

2. 2) 内容

「(1) 仮綴の場合」に準ずるが、以下のものを除いて作成する。

- ① 公表論文（ただし、「公表論文」の文字とそのリストを1. 2) ③に準じて記載したページ（P11）は添付する。）
- ② 参考論文（ただし、「参考論文」の文字とそのリストを1. 2) ④に準じて記載したページ（P12）は添付する。）

(書き方の例：仮綴の場合)

広島大学学位請求論文

Title of Doctoral Thesis

学位請求論文題目の和訳

和文題目の場合はその英訳

2024 年

広島大学大学院先端物質科学研究科

○○○科学専攻

鏡山 量子

目次

1. 主論文

Title of Doctoral Thesis

(学位請求論文題目の和訳。和文題目の場合はその英訳。)

鏡山 量子

2. 公表論文

(1) Title of the article 1

Name(s) of author(s)

Journal of, **99** (3), 100-107 (2021).

(2) Title of the article 2

Name(s) of author(s)

..... Letters, **77**, 15-18 (2022).

(3)

3. 参考論文

(1) Title of the article 1

Name(s) of author(s)

Journal of, **98**, 1-7 (2021).

(2) Title of the article 2

Name(s) of author(s)

Review of, **11**, 30-33 (2022).

(3)

※論文のリスト作成の際には、以下の点に注意すること。

- (1) 公表論文及び参考論文については、論文題目、公表の方法及び公表年を記載すること。(論文題目の表記方法(大文字、小文字)は、主論文と揃えること。)
- (2) 公表論文及び参考論文が2種以上ある場合は、列記すること。
- (3) 公表論文、参考論文の掲載誌、学会名が正式名称で記載すること。
- (4) ジャーナル等でページ番号が無い場合も、ページ数(印刷時の枚数)を記載すること。(例: 1-10, ○○○-1-○○○-10 等)

主論文

公表論文

- (1) Title of the article 1
Name(s) of author(s)
Journal of, **99** (3), 100-107 (2021).

- (2) Title of the article 2
Name(s) of author(s)
..... Letters, **77**, 15-18 (2022).

- (3)

參考論文

- (1) Title of the article 1
Name(s) of author(s)
Journal of, **98**, 1-7 (2021).

- (2) Title of the article 2
Name(s) of author(s)
Review of, **11**, 30-33 (2022).

- (3)

(書き方の例：広島大学学術情報リポジトリ公表の場合
(学位論文の全文を電子データ (PDF) で提出する場合)

博士論文

Title of Doctoral Thesis

〔学位請求論文題目の和訳〕
〔和文題目の場合はその英訳〕

鏡山 量子

広島大学大学院先端物質科学研究科

2024年3月

6. 学位申請手続について

専攻の予備審査において、提出した論文が受理に必要な要件を充たしていると判断された場合、以下の手続を行ってください。

[提出書類等]

No	提出書類等	部数	摘 要
1	学位論文審査願	2	課程博士用（別紙1）
2	学位申請書	2	論文博士用（別紙2）（在學生は提出不要）
3	学位請求論文	2	学位請求論文を印刷し、フラットファイル等に仮綴して提出してください。 学位の授与が認められた後は、表紙を「博士論文」に変更した「学位論文の全文」の電子データ（PDF）を提出してください。なお、「学位論文の全文」に代えて「学位論文の要約」を公表する場合には、「学位論文の要約」の電子データ（PDF）も併せて提出して下さい。 学位論文の作成については、前節「4. 提出論文の形式」及び「5. 学位請求論文の書き方」を参照してください。
4	論文目録	2	（別紙3）【片面印刷】
5	論文の要旨	2	（別紙4）【片面印刷】
6	履歴書	2	（別紙5）
7	承諾書	2	公表論文が共著である場合には提出が必要です。（別紙6）
8	博士の学位論文の提出及び公表に係る確認書（申請書）	1	広島大学学術情報リポジトリにおいて「学位論文の要旨」、「論文審査の要旨」及び「学位論文の全文」を公表することを前提に作成して、学位申請者及び主指導教員連名で署名・押印して提出して下さい。（公表論文及び参考論文はリポジトリで公開しないため、主論文の内容について確認してください。）（別紙7）【両面印刷】
9	審査手数料		論文博士の申請には、審査手数料57,000円が必要です。ただし、本学大学院博士課程後期の教育課程を終えて退学した者（単位取得退学した者）で、退学後1年以内に申請する場合、審査手数料は不要です。 先端物質科学研究科学生支援室で振込票を受領の上、銀行で振り込んでください（ATM不可）。振込手数料は、振込人負担となります。
10	各種証明書	1	論文博士の申請には、学位申請資格要件（1ページ参照）に応じて、次の証明書が必要です。 ・ 単位取得退学証明書 ※資格要件（2） ・ 最終学校の卒業（修了）証明書 ※資格要件（3）（4） ・ 研究期間証明書 ※資格要件（3）（4）

なお、前記の1～8の書類については、先端物質科学研究科ホームページで様式(Word)をダウンロードすることができます。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/adsm/graduateschool/academic/format>

先端物質科学研究科

→「在学生のみなさまへ」

→「教務情報」

→「各種届出様式（履修届・修士論文題目届・学位申請関係書類等）」
をご覧ください。

[提出期限]

区 分		提出期限	提出先	
課 程 博 士	4月に入学後、3年間在学し、3月に修了する者	1月25日	先端物質科学研究科 学生支援室	
	10月に入学後、3年間在学し、9月に修了する者	7月25日		
	3年を超えて在学し修了する者	随 時		
	早 期 修 了 す る 者	最短在学年限の者		上記3月又は9月 修了者と同様
		9月に修了する者		7月25日
		3月に修了する者		1月25日
	上記以外の者	随 時		
論文博士		随 時		

課程博士用

年 月 日

広島大学大学院先端物質科学研究科長 殿

令和 年 月 日入学
広島大学大学院先端物質科学研究科
博士課程後期
専攻

氏 名
印

学 位 論 文 審 査 願

「理学」、「工学」又は「学術」から選択し記入すること

広島大学大学院先端物質科学研究科博士課程後期博士（ ）修了の認定を受けるため、広島大学学位規則第4条第1項の規定に基づき、下記関係書類を提出いたしますから、審査くださるようお願いいたします。

記

論文	2通
論文目録	2通
論文の要旨	2通
履歴書	2通

論 文 目 録

学位申請者

氏 名

印

氏 名	
-----	--

主論文

Title of Doctoral Thesis 1 冊
 (学位請求論文の和訳。和文題目の場合はその英訳。)

鏡山 量子

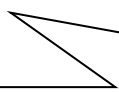
公表論文

- (1) Title of the article 1 1 編
 Name(s) of author(s)
 Journal of ……………, **99(3)**, 100–107 (2021).
- (2) Title of the article 2 1 編
 Name(s) of author(s)
 …… Letters, **77**, 15–18 (2022).
- (3)……………
 ……………

(参考論文を添付する場合)

参考論文

- (1) Title of the article 1 1 編
 Name(s) of author(s)
 Journal of ……………, **98**, 1–7 (2021).
- (2) Title of the article 2 1 編
 Name(s) of author(s)
 Review of ……………, **11**, 30–33 (2022).
- (3)……………
 ……………



注 (1) 公表論文及び参考論文については、論文題目、公表の方法、公表年及び冊数を記載すること。(論文題目の表記方法(大文字、小文字)は、主論文と揃えること。)

(2) 公表論文及び参考論文が2種以上ある場合は、列記すること。

(3) 公表されていない論文がある場合には、公表予定の方法及び時期を記載すること。

(4) 公表論文、参考論文の掲載誌、学会名が正式名称で記載すること。

(5) ジャーナル等でページ番号が無い場合も、ページ数(印刷時の枚数)を記載すること。(例: 1-10, ○○○-1-○○○-10 等)

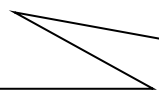
論文の要旨

氏名 ○ ○ ○ ○

論文題目 △ △ △ △

(英文題目の場合はその和訳。和文題目の場合はその英訳。)

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
.
.
.
.
.
.



(注) A4判, 縦, 左横書きとし, 4,000字以内とします。
ただし, 英文の場合は1,000ワード以内とします。

履 歴 書				ふりがな	
本 籍	〇 〇 県	現住所	〒	氏 名	
〇〇県〇〇市・・・・				生年月日	年 月 日
年	月	日	学 歴 ・ 職 歴 ・ 研 究 歴 ・ 賞 罰		
			学 歴		
〇〇	〇	〇〇	〇〇県立〇〇高等学校卒業		
〇〇	〇	〇〇	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学		
〇〇	〇	〇〇	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業		
〇〇	〇	〇〇	〇〇大学大学院〇〇研究科（修士課程又は博士課程前期）〇〇専攻入学		
〇〇	〇	〇〇	〇〇大学大学院〇〇研究科（修士課程又は博士課程前期）〇〇専攻修了		
〇〇	〇	〇〇	〇〇大学大学院〇〇研究科（博士課程後期）〇〇専攻進学（又は入学）		
〇〇	〇	〇〇	〇〇大学大学院〇〇研究科（博士課程後期）〇〇専攻単位取得退学		
			職 歴		
〇〇	〇	〇〇	〇〇大学助教（〇〇学部）		
〇〇	〇	〇〇	〇〇大学講師（〇〇学部） 現在に至る		
			研 究 歴		
〇〇	〇		（例） 鉱物の合成実験を行い参考論文1を公表		
〇〇	〇		（例） ペクマタイト鉱物及び稀元素の粘土鉱物への吸着等について研究		
〇〇	〇		（例） 文部科学省内地研究員として〇〇大学〇〇学部において粘土鉱物と土力学について研究中		
			賞 罰		
			な し		

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

提出年月日を記入する

氏 名

印

- (注) ・本籍、氏名、生年月日は戸籍のとおり、また現住所は郵便物が届くように正確に記入すること。
- ・履歴事項は、高等学校卒業後の履歴について年次を追って記載する。
 - ・学歴、職歴は年月日まで記入すること。研究歴は年月まででよい。
 - ・本学大学院博士課程の教育課程を終えて退学した者（単位取得退学した者）は、単位取得退学証明書を添付すること。

年 月 日

提出年月日を記入すること

承 諾 書

申請者の氏名を記入すること

下記の論文を、〇〇〇〇氏の学位請求論文の公表論文とすることを、共著者一同を代表して承諾いたします。

なお、この論文を、他の著者の博士学位請求の公表論文に再度使うことはいたしません。

記

- (1) Title of the article 1
Name(s) of author(s)
Journal of ……………, **99(3)**, 100–107 (2021).

- (2) Title of the article 2
Name(s) of author(s)
………… Letters, **77**, 15–18 (2022).

共著者代表
(所属)
(氏名) 印
(自筆の場合は、押印省略可)

博士の学位論文の提出及び公表に係る確認書（申請書）

広島大学が博士の学位を授与したときは、学位規則（昭和二十八年四月一日文部省令第九号）の第八条、第九条及び広島大学学位規則（平成 16 年 4 月 1 日規則第 8 号）の第 13 条及び第 14 条に基づき、広島大学学術情報リポジトリにおいて「学位論文の内容の要旨」、「学位論文審査の結果の要旨」及び「学位論文の全文」を公表します。

博士の学位論文を提出するにあたり、学位の申請及び広島大学学術情報リポジトリにおける公表について以下の項目を確認のうえ、必要事項を記入してください。

【広島大学学位規則（平成 16 年 4 月 1 日規則第 8 号）抜粋】

（学位論文要旨の公表）

第 13 条 本学が博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から 3 月以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

（学位論文の公表）

第 14 条 本学において博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から 1 年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

- 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、学長の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、学長は、その学位論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。
- 3 博士の学位を授与された者が行う前 2 項の規定による公表は、本学の協力を得て、インターネットの利用により行うものとする。
- 4 前 3 項の規定により当該博士の学位の授与に係る論文を公表するときは、「広島大学審査学位論文」と明記しなければならない。

学位申請者氏名	
論文提出先研究科	
論文題目	

問い合わせ先：

① リポジトリ・著作権に関すること

広島大学図書館 図書学術情報企画グループ 学術情報企画担当
 Tel: 082-424-6228 (内線 東広島 6228) Fax: 082-424-6211 (内線 東広島 6211)
 E-Mail: tosho-kikaku-kyoho@office.hiroshima-u.ac.jp
 広島大学学術情報リポジトリ (HiR) トップページ <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

② 確認書（申請書）・電子ファイル・学位論文審査に関すること

各研究科支援室（学生支援グループ）

③ 特許等に関すること

指導教員 または 広島大学産学・地域連携センター知的財産部門
 Tel: 082-424-5597 Fax: 082-424-6133
 E-Mail: chizai@hiroshima-u.ac.jp

※以下の項目は、事務で記入します。

学位記番号	甲 乙	第	号	学位授与年月日	年	月	日
-------	--------	---	---	---------	---	---	---

（裏面に必要事項を記入してください。）

1. 学位論文執筆に係る確認事項		
<input type="checkbox"/>	所定の研究倫理教育プログラムを受講し、研究倫理に関し必要な事項を理解したこと。	
<input type="checkbox"/>	研究上の不正行為（捏造、改ざん、盗用等）を行っていないこと。	
<input type="checkbox"/>	著作権の侵害行為を行っていないこと。（以下のア～エを満たす、適切な方法で引用を行っている。または、学位論文執筆に関して著作権者の許諾を得ている。） ア 既に公表されている著作物であること イ 「公正な慣行」に合致すること ・引用を行う「必然性」があること ・カギ括弧などにより「引用部分」が明確になっていること ウ 研究の引用の目的上「正当な範囲内」であること ・引用部分とそれ以外の部分の「主従関係」が明確であること ・引用される分量が必要最小限の範囲内であること エ 「出所の明示」をすること	
<input type="checkbox"/>	プライバシーを保護すべき研究対象者が存在しないこと。または、研究対象者のプライバシーが保護されていること。（対象者が研究対象となることを了解しており、公表方法等にも合意している。）	
2. 学位論文申請に係る確認事項		
<input type="checkbox"/>	共著者がいる場合、共著者が同じ内容で学位論文申請を行うことが無いよう、「あなたの学位論文とすることに同意する。」旨の書類を本学に提出していること。または、単著論文であること。	
<input type="checkbox"/>	「学位論文の全文」、「学位論文の要旨」の電子データを提出すること。また、広島大学学位規則第14条第2項における「やむを得ない事由」がある場合には、併せて「学位論文全文の要約」の電子データを提出すること。博士論文の電子データ形式は、PDF（PDF/A(ISO 19005)推奨）とする。	
3. 広島大学学術情報リポジトリで公表することに係る確認事項		
<注意事項>		
1 本学では広島大学学術情報リポジトリ(以下「リポジトリ」という。)で論文の全文及び論文の要旨をインターネット公開することとしているため、本確認書(申請書)提出の際に、著作権のうち複製権・公衆送信権について許諾したことになります。		
2 リポジトリではデータの公開にあたり、データの複製(印刷・ダウンロード等)は、調査研究・教育または学習を目的としている場合に限定されることを明示します。		
3 「学位論文の要旨」及び「論文審査の要旨」は学位授与日から3月以内に、「学位論文の全文」又は「学位論文全文の要約」は学位授与日から1年以内にリポジトリにおいて公表し、リポジトリトップページに「お知らせ」を掲載しますので、確認してください。		
<input type="checkbox"/>	学位論文全文の公表に際し、学位申請者自身が著作権等の権利関係を確認済みであること。	
<input type="checkbox"/>	広島大学学位規則第14条第2項における「やむを得ない事由」(以下A～H)に該当しないこと。 (該当がある場合はこの欄を空欄とし、以下の項目にチェックを入れること。)	
【広島大学学位規則第14条第2項における「やむを得ない事由」に該当する項目】(ない場合はチェック不要)		
<input type="checkbox"/>	A	立体形状による表現を含むなど事実上インターネットでの公表が不可能なものである。
<input type="checkbox"/>	B	学位論文における文章や図表・写真等について、著作権法第32条に定める引用ではなく、同法第63条に定める許諾によって利用した場合において、リポジトリでの公表が許諾に係る利用方法及び条件の範囲内に含まれていない。また、リポジトリでの公表について許諾が得られていない。
<input type="checkbox"/>	C	共著者のある場合で、リポジトリで公表することについて許諾が得られていない。
<input type="checkbox"/>	D	著作権を譲渡している場合で、著作権者(出版社や学会)に許諾が得られていない。
<input type="checkbox"/>	E	投稿・出版した(またはその予定がある)ものであって、掲載誌・出版社の許諾が得られていない。
<input type="checkbox"/>	F	公表してはいけないような、対象者のプライバシーに関わる情報や秘匿の情報を含んでいる。
<input type="checkbox"/>	G	投稿・出版の予定があって、全文の公表により申請者自身に明らかな不利益が生じる。
<input type="checkbox"/>	H	特許・実用新案等の出願の予定があって、全文の公表により申請者自身に明らかな不利益が生じる。
広島大学長 殿 上記の理由(詳細: _____)により、学位の授与に係る論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表したいので、申請します。 なお、上記の理由が解消された場合には、速やかに(提出先: _____)へ改めて本紙を提出し、論文の全文を公表します。 【公開予定日: 20 年 月 日】 (<input type="checkbox"/> 公開予定日は定まらない。)		
(事務で記入) やむを得ない事由の審議結果		20 年 月 日 研究科教授会・代議員会 承認 <input type="checkbox"/>
4. 申請者署名及び指導教員署名		
学位申請者署名(自署)		20 年 月 日
主指導教員署名(自署) (論文博士の場合、主査等署名)		20 年 月 日
【主指導教員によるチェック欄】		
学位申請者の論文について、盗用・剽窃等がないことを確認しました。		
<input type="checkbox"/>	①剽窃チェックソフト「iThenticate」の使用 ②適切な方法で引用が行われていることの確認 ※「iThenticate」の確認結果の画面(類似率(%)が表示されている部分)のコピーを添付してください。 (クリップ留め)	

記載いただく氏名等の情報は、学位関係業務にのみ使用します。

Doctoral Dissertation Submission and Publication Confirmation (Application Form)

Based on Articles 8 and 9 of the Degree Regulations (Ordinance of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology No.9 of April 1, 1953) and on Articles 13 and 14 of the Hiroshima University Degree Regulations (No.8 of April 1, 2004) those who will receive a doctoral degree from Hiroshima University shall use the Hiroshima University Institutional Repository for the publication of the abstract of the dissertation content, the summary of the results of the dissertation screening and the entire dissertation.

When you submit a doctoral dissertation, please confirm the following requirements regarding application for a doctoral degree and publication in the Hiroshima University Institutional Repository then fill out the following form:

Applicant's Name:	
Graduate School where the Dissertation is to be Submitted:	
Title of the Dissertation:	

Inquiries :

① On the Institutional Repository and Copyright:

Hiroshima University Library Information Planning Group (Information Planning)

Tel : 082-424-6228 (Extension: Higashi-Hiroshima 6228)

Fax: 082-424-6211 (Extension: Higashi-Hiroshima 6211)

E-Mail: toshokikaku-jyoho@office.hiroshima-u.ac.jp

Hiroshima University Institutional Repository (HiR) Top page:

<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

② On the Confirmation (application form), electronic files, thesis reviews

Contact your support office (Student Support Section).

③ On Patent issues etc.

Contact your doctoral advisor or

Office of Research and Academia-Government-Community Collaboration

(Department of Intellectual Property)

Tel: 082-424-5597 Fax: 082-424-6133

E-Mail: chizai@hiroshima-u.ac.jp

1. Items to verify concerning the writing of the dissertation	
<input type="checkbox"/>	The author took the required educational program on research ethics, and sufficiently understood the principles and expectations for ethical research.
<input type="checkbox"/>	The author did not commit any misconduct in the research such as fabrication, falsification, or plagiarism.
<input type="checkbox"/>	The author did not infringe upon copyright. (Works were cited in an appropriate manner as described in A – D below, or copyright clearance was obtained to use the work in writing the thesis.) A Quotation is from a work already made public. B Quotation is used in a manner compatible with fair practice. * Quotation is used only when deemed necessary. * Quotation is clearly indicated by devices such as quotation marks. C Quoting from a work is permissible to the extent justified by the purpose of the quotation. * The subordinate-superior relationship between quoted parts and other passages in the text is clear. * Quotation is not used more than is absolutely necessary. D Sources are clearly indicated.
<input type="checkbox"/>	There are no human research subjects who require privacy protection, or the privacy of the research subject is protected (the subject agreed to participate in the study, and also agreed on the manner of publication).

※For official use only

学位記番号	甲 乙	第	号	学位授与年月日	年	月	日
-------	--------	---	---	---------	---	---	---

(Please fill in the following pages with the necessary information.)

2. Items to verify concerning the application of dissertation	
<input type="checkbox"/>	In cases of there being a coauthor, the coauthor has submitted the certificate of consent "I agree to declare this thesis as your academic dissertation" to avoid submission of an academic dissertation with the same contents by the coauthor. Alternatively, the dissertation is written by a single author.
<input type="checkbox"/>	The electronic data of the entire dissertation and the abstract of the dissertation content will be submitted. In cases of unavoidable circumstances as described in the Hiroshima University Degree Regulations, article 14.2, the electronic data of the summary of the dissertation content will also be submitted. The data file format of the doctoral dissertation is PDF (PDF/A(ISO 19005 recommended)).
3. Items to verify concerning publication in the Hiroshima University Institutional Repository	
<Note>	
1. Hiroshima University conducts internet publication of the entire dissertation or its abstract in the Hiroshima University Institutional Repository (hereinafter referred to as "Repository"). Note that by submitting this form "Doctoral Dissertation Submission and Publication Confirmation (Application Form)", you agree to matters concerning reproduction right and right of public transmission, both of which are part of copyright.	
2. By publishing the data in the Repository, we manifest that data replication (print or download etc.) is strictly limited to purposes of investigative research, education, and study.	
3. Note that the abstract of the dissertation content and the summary of the results of the dissertation screening will be published in the Repository within 3 months after the day the degree is awarded and the entire dissertation or the summary of the dissertation content within 1 year after the day the degree is awarded. Please note that we will post the information about publication on the home page of the Repository.	
<input type="checkbox"/>	When publishing the entire dissertation, the degree applicant has personally confirmed any applicable rights/copyrights.
<input type="checkbox"/>	The applicant has no unavoidable circumstance as described in the Degree Regulation of the Hiroshima University, Article 14.2. (as described below A – H) . (Please check any box that applies below. If none of the following options apply, check the box on this option.)
【Unavoidable circumstances as described in the Hiroshima University Degree Regulations, Article 14.2】 (only choose appropriate entries)	
<input type="checkbox"/>	A Publication in the internet is virtually impossible because the thesis contains stereoscopic figures etc.
<input type="checkbox"/>	B Text, charts or pictures etc. in the dissertation are not regarded as quotation according to the Copyright Law Article 32 and they are used with permission according to Article 63 of the same law, and publication in the Repository is beyond the sphere of permitted use and conditions. Additionally, publication in the Repository hasn't been permitted.
<input type="checkbox"/>	C There is a coauthor and permission from him/her for publication in the Repository has not yet been obtained.
<input type="checkbox"/>	D Copyrights have been granted, and permission from the copyright holder (publishing company or academic society) has not yet been obtained.
<input type="checkbox"/>	E The dissertation is already submitted/published or planned to be submitted/published and permission from the magazine or publishing company has not yet been obtained.
<input type="checkbox"/>	F There is private information or secrets concerning the object of research which are not allowed to be published.
<input type="checkbox"/>	G The dissertation is planned to be submitted/published and publication of the whole text would create obvious disadvantages to the applicant.
<input type="checkbox"/>	H The applicant has a plan to apply for patent or new design for practical use etc., and publication of the whole text would create obvious disadvantages to the applicant.
To the President of Hiroshima University: For the reason stated above (Details : _____) I wish to publish a summary of my doctoral dissertation instead of the whole text. As soon as the unavoidable circumstances mentioned above are resolved, I will immediately resubmit this form to _____ and have the whole text of my dissertation published in the Repository. 【Assumed date of publication : Year 20____ , Month _____ , Day _____】 (<input type="checkbox"/> not yet determined)	
(For official use only) Results of deliberations concerning the unavoidable circumstances	Year 20____ , Month _____ , Day _____ Approval by the Faculty Meeting of the Graduate School · the Board of Representatives <input type="checkbox"/>
4. Signatures of the applicant and the doctoral advisor	
Signature of the Applicant for a Doctoral Degree (sign manually)	Year 20____ , Month _____ , Day _____
Signature of the Main Doctoral Advisor (sign manually)	Year 20____ , Month _____ , Day _____
<input type="checkbox"/>	The advisor has confirmed that there is no plagiarism or theft in this dissertation by following methods: (1) Use of the plagiarism checking software iThenticate (2) Confirmation that citations have been made in an appropriate manner * Please attach a copy of the screenshot of the iThenticate results (where the similarity rate (%) is displayed). (In cases of a doctoral degree by dissertation only, the chief etc. must sign here.)

注意事項

○論文題目について

論文目録の題目をもととし、他の書式に記載した論文題目と表記の違いはないか、再度チェックの上、先端物質科学研究科学生支援室に提出してください。

○提出書類（各2部）について

1部はオリジナルを提出してください（1部はコピーで可とします）。
公表論文の「承諾書」についても、1部はコピーで可とします。

○「学位論文の全文」の電子データ（PDF）について

学位の授与が認められた後、速やかに「学位論文の全文」の電子データ（PDF）を先端物質科学研究科学生支援室へ提出してください。

○学位申請書（別紙2）について

論文博士用です。本研究科在学学生は作成の必要はありません。

○履歴書の記載事項について

① 広島大学の学部・大学院の入学月日は、次のとおりです。

4月入学 「4月1日」
10月入学 「10月1日」

② 広島大学の学部・大学院の卒業日・修了日は、次のとおりです。

※平成25年以前の卒業日・修了日は支援室で確認してください。		
平成26年3月23日	平成27年3月23日	平成28年3月23日
平成29年3月23日	平成30年3月23日	平成31年3月23日
令和2年3月23日	令和3年3月23日	令和4年3月23日
令和5年3月23日	令和6年3月23日	

※平成27年以前の卒業日・修了日は支援室で確認してください。		
平成28年9月20日	平成29年9月20日	平成30年9月20日
令和元年9月20日	令和2年9月18日	令和3年9月17日
令和4年9月20日	令和5年9月20日	

③本籍、氏名及び生年月日は、戸籍と相違しないよう注意してください。

○お問い合わせ先

広島大学大学院先端物質科学研究科支援室（学生支援担当）

電話 (082) 424-7008, 7009

FAX (082) 424-7000

E-mail sentan-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp